

1960-11

表紙の写真

電気石花崗岩 四国路⑨ (5万分の1 柏島)

① 構造性ガス……………2
 ② わが国の鉱産資源……………10
 ③ 太平洋臨海ベルト工業地帯のさく井適地……………14
 ④ 地すべり地に生きる人たち……………20

地質ニュース No.75

花崗岩は「みかげ石」とも称され わが国に広く分布している 粗粒の長石類・石英・黒雲母から構成されていて美しいために 石材などとして多方面に愛用されている 花崗岩の中で黒雲母のかわりに電気石の入ったものは 電気石花崗岩と呼ばれ 珍しいものである これは西南日本外帯に時として認められる この写真は柏島で発見したものである(石)

Arist Photo 120mm 使用 FD 111

吉野 FS-3 コレクター

構造性ガス

1. ま え が き

ここ数年来 新潟県下を中心として 構造性ガスの探鉱の重要性を耳にすることが少なくない。しかし「構造性ガス」とは 今日広く慣用されているにもかかわらず 明確な定義を与えられた術語ではない。

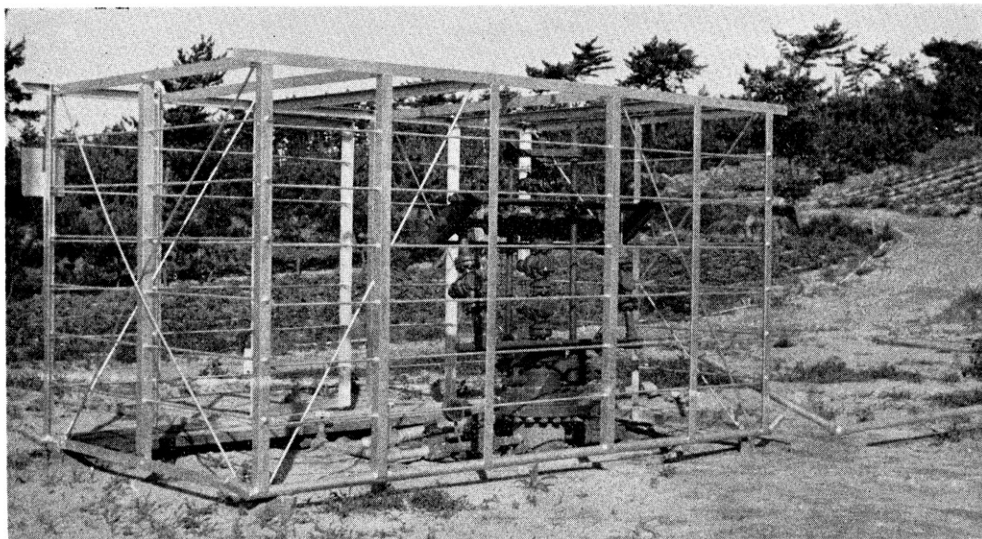
時には いわゆる石油系ガス田のガスをさし 時には structural trap から産する遊離ガスをさしている。そこで 話を進める便宜上 ここでは たとえば 背斜構造のような集積構造によって形成された structural trap をなす 遊離型ガス層 から産するガスを意味するものとして受取ることしよう。したがって たんに石油系ガス田の場合のみならず 水溶性ガス田の一部に存在する集積構造によって形成された 遊離型ガス層から

の産出ガスも包含して考えることとする。

構造性ガス探鉱の急務が 説かれるようになったのは 新潟地区の地盤沈下も深く関係している。ここでは詳説しないが 各種のデータから水溶性ガス層からの大量・急速な揚水が沈下の主要原因と推測され ガス採取に相ついで制約を課されるに至っている。

そこで 揚水せずに採取しうる天然ガス源として 構造性ガスが 世人の注目のまとなったのである。すなわち 最も普通に遊離型ガス層を形成するものとして structural trap が取上げられたのである。

さて ここでガス層の型について述べてみよう。ガス層はガスの存在状態にしたがって水溶性 油溶性および遊離型に3大別される。



←東新潟ガス田1,440 m 層 発見井 (石油資源開発KK東新潟SK-1)